

家庭科学習指導案

授業 I

6年3組 33名 指導者 松田 華奈

本授業は、以下の検証を行うものである。

子供がグループごとの課題について考えた解決方法を基に、主に健康・快適・安全の「見方・考え方」を働かせながらグループでの話し合いを取り入れて考えを再構築させることは、課題解決に向けて子供自身が学びや変容を自覚することができる「深い学び」を実現するための手立てとして有効であったか。

1 題材 クリーン大作戦 (B 衣食住の生活)

2 目標

日常生活における清掃の問題に気付き、楽しく快適に生活するために、健康、快適、安全を考慮した住まい方に関する知識及び技能を身に付け、住生活の課題を解決する力を養い、住生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することができるようにする。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を理解している。 ○ 状況に応じて適切に清掃することができる。	○ 気持ちよく生活するために、健康、快適、安全を考慮した清掃のよさについて考え、自分なりの清掃の工夫している。	○ 日常生活における清掃の問題に気付き、気持ちよく生活できる住まいに関心を持ち、自分の住生活を整えていこうとしている。

4 題材について

(1) 題材について

本題材は、子供たちが健康、快適、安全で豊かな住生活に向けて課題をもって考え、工夫する活動を通して、快適な住まい方に関する知識及び技能を身に付け、住生活の課題を解決する力を養い、住生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を身に付けることをねらいとしている。

子供たちはこれまでに、第1学年から第4学年までの学級活動「きれいな学校にするために」や、第4学年社会科「住みよいくらしをつくる」において、身の回りの環境を整えることに関する学習をしてきている。また、5年生家庭科「かたづけよう身の回りの物」では、住生活内容の一つである住まいの整理・整頓について学習し、「寒い季節を快適に」では、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について学習してきている。

この学習は、7月「暑い季節を快適に」、3学期「共に生きる生活」につながるものである。さらには、中学校技術・家庭科の家庭分野「B衣食住の生活」の「(6)住居の機能と安全な住まい方」、「(7)衣食住の生活についての課題と実践」へと発展していく。

(2) 子供について

本校では縦割班で清掃活動を行っており、自分が熱心に清掃を行うことはもちろん、下級生に優しく教える姿も見られる。しかし、毎日同じ清掃場所で同じような清掃を行うことに対して意欲を持続することが難しい子供もおり、家庭における清掃のこととなると意識が低くなり、家の人にしてもらっていることが多い等の課題に気付いていない子供も多く見られる。

そこで本題材では、学校や家庭での住生活を見つめる機会を通し、身近な課題を設定することにより、子供たちがこの学習で身に付けた知識及び技能を使って、自分の住生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を身に付けさせたい。さらに、学んだことを生活に生かす機会を増やすために、整理・整頓や清掃に関して1年生に提案する活動を題材の終末に設定することで、その喜びや有用感を感じることができるようにする。

(3) 指導について

清掃の仕方については、児童が日常よく使う場所を取り上げるようにする。学校や家庭での体験を基に清掃について見直し、なぜ汚れるのか、何のために清掃するのかを考えさせるとともに、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方が分かり、状況に応じた清掃の仕方を理解し、適切な清掃ができるようにしたい。さらに、和室の畳の清掃の仕方にも触れ、日本の生活文化

に気付くことができるようにする。

また、家庭によって清掃の仕方が異なることから、家庭での工夫について交流する活動を通して、適切な住まい方を考える活動に生かすことができるようにする。その際、清掃を適切にすることによって、家族が楽しく快適に過ごせることにも気付かせたい。そして、A(2)「家庭生活と仕事」の学習との関連を図り、実践する喜びや家族との関わりを感じながら学習を進めるよう配慮する。そうすることで、子供の家庭生活を大切にしている心情や生活を楽しもうとする態度を育むことができるものとする。さらに、適切な清掃は、家庭や学校内の事故を防ぐために大切であることにも気付かせたい。

5 指導計画（総時数6時間）

過程	主な学習活動	時間
つかむ・見通す	家庭で 日常生活の中から清掃における問題点を見付ける。 1 自分の生活を見つめ、清掃における問題の中から課題を設定し、学習課題を設定する。 家族が気持ちよく生活するためには、どのような清掃の工夫ができるだろうか。	1
	2 共通課題から清掃の問題を見いだすための観点を考え、場所別グループに分かれる。 家庭で 自分の課題を解決するために、調べ学習を行う。	1
調べる・確かめる	3 場所別グループに分かれ、解決策について話し合う。 4 情報交換を行い、よりよい清掃の工夫について考える。	1 1 (本時)
	5 学校で実践し、評価・改善を図る。それを基に、家庭や地域での実践計画を立てる。	1
生かす	家庭や地域で 実践する。 6 家庭や地域での実践報告会を行う。また、1年生へ向けて学校でできる清掃や整理・整頓の工夫について提案する準備を行う。	1

6 本時（4/6）

(1) 目標

気持ちよく生活するためにどうすればよいかを進んで考え、場所別グループで見いだした解決方法を基に情報交換する活動を通して、健康、快適、安全を考慮した清掃の仕方を見いだしたり、見直したりすることができるようにする。

(2) 評価基準

情報交換する活動を通して、健康、快適、安全を考慮した清掃の仕方を見いだしたり、見直したりしている。 【思考・判断・表現】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、場所別グループで話し合ったことを基に、自分たちの住生活における課題を確認させることで、身に付けた知識や技能を自分に必要な形で実生活に生かして、生活をよりよくしたいという「思いや願い」を、一人一人に明確にもたせたい。

「調べる・確かめる」過程では、場所別グループで考えた解決方法を他のグループや学級全体で交流する活動を設定する。そうすることで、子供たちに考えを広げたり深めたりさせたい。その際、それぞれの発表で清掃の仕方を取り上げて実践交流したり、用具の違いによる汚れの落ち方を実験結果等の根拠を基に発表したりする。そのことによって、子供が場所別グループで考えた清掃の仕方や、これまでの学校や家庭生活での清掃の仕方について見直し、更によりよく工夫するためのきっかけとさせたい。

「生活に生かす」過程では、子供の振り返りを意図的に指名することで、情報交換を通して広がったり深まったりした学びや変容を、子供たちが実感を伴って十分に味わうことができるようにし、家庭や地域での実践への意欲が更に高まるようにしたい。

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	<p>1 場所別グループで話し合ったことを振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>毎日よく使う場所は、どのように清掃したらよいだろうか。</p> </div> <p>2 学習の進め方に見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 交流でたくさんヒントをもらって、今の計画をよりよくしたいな。</p> </div> <p>3 解決策について話し合う。【他者とつなぐ】</p> <p>(1) 自分とは異なる場所について調べた友達と話し合う。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【場所別グループについて】</p> <p>フローリング、たたみ、じゅうたん、水道、風呂、トイレ、ガスこんろ、窓、玄関</p> </div> <p>○ 「何ができるようになりたいか」という子供たちの「思いや願い」を共有し、身近なところから本時に対する意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ 事前に話し合いの視点を確認し共有することで、双方向での情報交換を行うことができるようにする。</p>
調べる	35	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>・ ほこりが部屋中に舞うから、壁を掃除する時ははたきで上から下へはたいた方がよいと祖母が言っていたよ。</p> <p>・ 古歯ブラシを使って蛇口の付け根をそうじするとよいと本に書いてあったよ。</p> </div> <p>(2) 場所別グループに戻り、よりよい方法について話し合い、実践計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>・ 玄関を掃除するときも、まずはたきで壁をはたいてから床をした方がよいね。</p> <p>・ トイレの縁も、古歯ブラシを使ったら汚れが落ちやすそうだな。歯ブラシは細かい場所のそうじに向いているね。</p> <p>・ 汚れをきれいにするだけ考えていたけど、上のほこりを落としてから下の汚れをきれいにした方が良さそうだな。</p> </div> <p>(3) 全体で発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>・ 水に関係する場所の汚れはほとんどが水あかだね。それに、掃除の仕方も似ているね。</p> <p>・ 時間が経った汚れはなかなか落ちないことが分かったよ。だから、毎日掃除をした方がよいんだね。</p> </div> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>○ 情報交換では、実践交流を行ったりICT機器を活用したりすることで、根拠に基づいた意見を発表することができるようにする。</p> <p>○ 自分の課題と似た場所のグループと交流を行うことで、多様な友達の考えを理解し、自分の考えに反映させていくことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【交流する組み合わせについて】</p> <p>1. 床に関係するグループ フローリング、たたみ、じゅうたん</p> <p>2. 水回りに関係するグループ 水道、風呂、トイレ、ガスこんろ</p> <p>3. その他のグループ 壁・窓、玄関</p> </div> <p>○ グループ同士の交流後に、元のグループに戻り、よりよい方法を考える時間を設けることで、子供たちが自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>※ 情報交換する活動を通して、健康、快適、安全を考慮した清掃の仕方を見いだしたり、見直したりしている。 (発言・ワークシート)【思考・判断・表現】</p>
まとめる・生かす	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>毎日よく使う場所は、汚れの種類や汚れ方、汚れてからの時間の経過に応じて清掃したらよい。</p> </div> <p>5 本時を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>・ ぼくたちが考えた方法は、時間が経った汚れでも落ちるのか早く試してみたいな。</p> <p>・ 汚れの種類に合った清掃をして、元の状態よりもよりぴかぴかにして、みんなが気持ちよく使えるようにしたいな。</p> </div>	<p>○ 発表で出なかった清掃の工夫について補説することで、健康、快適、安全を考慮した清掃の大切さにも気付くことができるようにする。</p> <p>○ 「P」「M」「N」の三つの視点から本時の振り返りを行うことで、新たな「思いや願い」をもち、次時への意欲が高まるようにする。</p> <p>○ 本時の導入の段階よりさらに「思いや願い」が高まっている子供の振り返りを紹介することで、次時の清掃への意欲が高まるようにする。</p>